



理念

キリストの愛と確かな医療をもって心と体のいやしをめざします

2023/春

2号連続
特集安心して受診できる病院を目指して part 1
患者様を守る感染対策チーム (ICT)

当院では、患者様とご家族、職員、当院に関わる全ての人を院内感染から守り安全な医療を提供することを目的として、院内感染防止対策に関する活動を行っています。

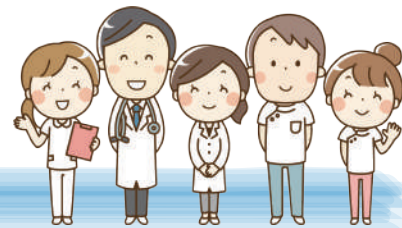
あらゆる立場の人に影響を及ぼす院内感染を未然に防止するとともに、ひとたび感染症が発生した場合には拡大防止のためにその原因を速やかに特定し終息させることが必要となります。当院では、6つの組織が連携して院内感染を防止する活動を行っています。その中でも院内感染防止対策における実働部隊となる役割を担っているのが、感染対策チーム (Infection Control Team: 以下 ICT) です。

ICTの構成メンバー

感染管理を専門とする**医師**・**看護師**・**薬剤師**・**臨床検査技師**の4つの職種で構成されています。

(左から 臨床検査技師：村田・医師：久木田・看護師：真島・薬剤師：遠藤)

ICTの主な活動



医師



院内感染発生時に迅速な対策をするため

- ①実態調査(サーベイランス)と対策計画作成
- ②日頃の院内感染対策指針の見直し
- ③伝染性感染症が発生した際の対応
- ④薬剤耐性菌出現への対策
- ⑤職員への教育

などを行っています。



看護師



- ①感染症発生状況の現状把握
 - ②チームメンバーとの情報共有
 - ③院内感染防止対策の現状把握と改善
 - ④院内感染防止対策に関する職員教育
 - ⑤院内感染防止対策に関する相談の対応
- などの院内感染防止対策の実践的な役割を担っています



医師

看護師

感染対策
チーム

臨床検査
技師

薬剤師

臨床検査科

での

院内感染対策は様々なものがありますが、代表的なものとしては

- ①耐性菌の速やかな報告
- ②感染性・病原性の強いウイルスの検査などが挙げられます。また、ウイルスの検査は新型コロナやインフルエンザ、ノロウイルスなどの検査を行っており、特に新型コロナウイルスはPCR検査や、抗原検査など様々な検査方法を用いて結果を報告しています。



薬剤科

では

- ①抗菌薬の管理・使用状況の確認・指導
 - ②抗菌薬使用による副作用防止
- 耐性菌出現の対策
- 抗菌薬の不適切な使用や長期間の投与は、薬剤耐性菌を発生させる原因となります。その対策として患者様の腎機能などに合わせた抗菌薬の処方提案や実測した血中濃度から薬の用量の調節を提案するなどしています。



豆知識①

耐性菌とは？

抗生物質が効かない、もしくは効きにくい細菌のことです。



豆知識②

「この薬は必ず5日間飲み切ってくださいね」といった指示があった時は…
抗生物質を飲んで症状が軽くなったからといって途中で止めてしまうと新たな耐性菌が出現するリスクが高まります。医師や薬剤師の指示を守り、必要な時、必要な量を適切な期間服用してください。

新型コロナウイルス感染症を振り返って

病院は体力や免疫力が低下した方が集まる特殊な環境のため、様々な感染症が起こりやすい状況にあります。患者さんや医療従事者を感染被害から守るためには、適切な感染制御が行われていなければなりません。

当院では、左図の多職種からなるチームが協力して感染対策に取り組んできていますが、ご存知の通り新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は当初は全く未知の感染症だったことから、毎日のように状況が変わり必要な物資が不足するといった事態もみられました。当院も、各所から発信される情報を注視しながら、状況に応じ当院に来られる（入院、外来を問わず）患者さんへのリスクを最小限に抑えつつ、

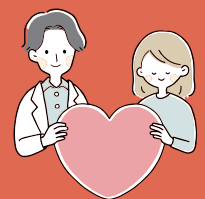
COVID-19 対策で最大限地域に貢献できるよう努力して参りました。産科やホスピスという比較的重症化リスクの高い患者さんが多いこともあり、積極的に入院を受け入れることができませんでした。

その代わりにワクチン接種を1日に100人単位で行ってきました。感染症の脅威に対抗するには、日常からの心がけ、抗生物質の適切な使用、正しく対処できているかどうかの振り返り、地域の皆さんへの啓蒙活動、予防接種の普及など様々な分野での活動が必要です。

当院も他の医療機関や保健所、行政等とも協力し、この地域をより安全で住みやすいところにしていくべく、努力していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



次号は
医療安全
特集です!!



チャレンオフィス便り

「わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るであろうか。
わが助けは、天と地を造られた主から来る。」
（詩編121編1,2節）

1992年に世界初の女性7大陸最高峰登頂者となった登山家、田部井淳子（たべいじゅんこ1939－2016）さんは小学四年の時、担任の先生の「山登りは、よーいどん、じゃない。ゆっくりでいいんだよ」という言葉のおかげで、体が小さく、体育が苦手でも気にせず安心して歩くことができたそうです。栃木県那須山系の茶臼山の頂上に立てた時、がんばれば自分にもできる、と自信をもちました。彼女の言葉です。「山登りは競争ではないのと同時に、どんなにつらくても、『選手交代』もない。自分が行かない限り、絶対に頂上に立つことはできません。頂上からの素晴らしい景色は、自分の足で最後まで歩いたからこそ、見ることができるもの。どんな山に登る時も一歩一歩です。途上の困難を飛び越すことはできません。」（『暮しの手帖』2015年6－7月号より）。

夏山シーズンを迎えます。ご自分の体力に合った山に挑戦してみませんか。

チャレン 吉田浩行

栄養科より「アドベンごはん」 Instagram & Twitter 始めました！

当院自慢の卵乳菜食を毎日発信中！


当日の入院献立を写真付で見ることが出来ます。今後はイベント食や栄養情報の掲載も考えております。

- ・病院食を参考にしたい
 - ・ベジタリアン食に興味がある
 - ・健康的な食事をしたい
 - ・ダイエットをしている
- ご質問等も当院管理栄養士までお気軽にご相談ください。




follow me!

Instagram



@advengohan

Twitter



@advengohan

#アドベンごはん 検索



新任医師の紹介



産婦人科
頃末 真惟子
ころ すえ まいこ

【出身大学】 愛知医科大学 2020年 卒

【専門分野】 産婦人科

【患者様へ】 2023年5月に赴任いたしました、頃末真惟子と申します。兵庫医科大学病院、新宮市立医療センターにて勤務しておりました。産婦人科医としてお役に立てるよう、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。